

ずっと住みたい!



この街に

八街市はどんなまちづくりを目指しているの？

八街市では、市民をはじめ、区や自治会、事業者、行政など八街市に関わるすべての人々が協力・連携し、住み続けたいと思えるまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」を推進しています。

なぜ、協働する必要があるの？

人口減少・少子高齢化が進むとともに地域のつながりが薄れるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

また、近い将来、65歳以上の高齢者が市民の3人に1人を占め、現役世代2人で高齢者1人を支える社会構造が避けられない状況となっています。

このような状況の中で、住み続けたいと思える街にするためには、**八街市に関わるすべての人々がふれあい、つながり、支え合ってまちづくりに取り組むことで、それぞれが活躍し、生きがいを感じられる地域社会を築いていく必要があります。**



八街市の将来人口推計

年代	総人口	15歳未満の人口	65歳以上の人口	高齢化率
2015年	73,220人	8,153人	18,009人	24.6%
2025年	64,498人 (66,827人)	5,798人 (6,673人)	21,877人 (22,196人)	33.9% (33.2%)
2060年	26,921人 (46,544人)	1,732人 (6,964人)	13,505人 (15,950人)	50.2% (34.3%)

4人に1人が65歳以上

3人に1人が65歳以上

2人に1人が65歳以上

※（ ）内は、八街市がめざす目標人口推計の数値
 ※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合
 出典：八街市まち・ひと・しごと創生地方人口ビジョン

協働することで、どんなことができるの？

●活動内容を充実させる

それぞれの長所を活かし協力し合うことで活動内容を充実させることができます。

また、分野を超えて協力し合うことで単独ではできないことができるようになります。



●孤立化、孤独化をなくす

子育てや介護などの問題を社会全体で共有することで、一人で抱え込まず、みんなで支え合って解決することができます。

介護



●それぞれの願いや想いを実現する

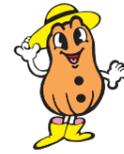
様々な人々と協力し合うことで、自分が思い描く住みよい環境をつくることができます。

ずっと住みたい!



●地域に即した事業を実施する

行政の画一的なサービスでは手が届きにくいことでも、様々な立場の人々が活動することで地域ニーズに合ったまちづくりが可能になります。



みんなで子育てする街に



子育てへの関わり方は様々です。どのような関わり方があるか考えてみましょう!

世代ごとの関わり方

高齢者世代

- ・登下校の見守り
- ・子ども110番の家
- ・昔の遊び教室
- ・学校の授業支援
- ・子ども食堂
- ・子どもの送迎、預かり

現役世代

- ・登下校の見守り
- ・放課後の運動支援
- ・子どもの送迎、預かり
- ・食育
- ・プロボノ(注)

子ども世代(小・中・高・大)

- ・放課後の運動支援
- ・小中学生向けの学習支援(夏休み)
- ・寺子屋(休日)
- ・科学体験支援
- ・NPO法人の立ち上げ

子育て



ナツちゃん
登下校の
見守りなら
私にもできるわ



ピーちゃん
子どもは
地域の宝!



ボランティア

- ・学習支援
- ・物語の語り聞かせ
- ・人形劇の開催
- ・おもちゃの修理
- ・子育てサロン

区・自治会

- ・登下校の見守り
- ・地域交流行事
- ・子育てサロン
- ・子ども会
- ・子ども食堂

民生委員・児童委員 ・青少年相談員

- ・相談、助言、援助
- ・訪問、見回り

PTA

- ・登下校の見守り
- ・お下がりの提供
- ・バザー
- ・食育

事業者

- ・校外学習、職場体験
- ・設備の貸し出し
- ・子ども110番の家
- ・食育
- ・寄附付き商品の販売

組織を通じた関わり方

(注) プロボノとは、職業上身に付けた専門的な知識やスキル等を活かしたボランティアのことをいいます。

協働のまちづくりに関する基本的な方針や目標、ルールを定めています

- 八街市協働のまちづくり指針 ⇒ 行動理念
- 八街市協働のまちづくり条例 ⇒ 協働の基本的なルール
- 八街市協働のまちづくり推進計画 ⇒ 協働推進事業

※指針、条例、推進計画は、市民協働推進課の窓口で閲覧できる他、市役所公文書公開コーナーや図書館、市ホームページで閲覧することができます。

まちづくりにご協力いただける「市民サポーター」を募集しています！

市では、誰もが住みやすい安全・安心なまちづくりを実現するために、まちづくりにご協力いただける方を募集しています。

- 公園サポーター
- こども110番の家
- おはなし会（物語の語り聞かせ）
- 消防団団員
- 資源回収実施団体 など

市民サポーターに関するお問い合わせは

八街市 市民部 市民協働推進課 …… TEL:043-312-1140 (直通)
〒289-1192 八街市八街ほ35番地29

あなたもボランティア活動を試みませんか？

市内では、60以上のグループがボランティア活動を行っており、子どもへの物語の語り聞かせや人形劇の開催、おもちゃの修理など、その活動は多岐に渡ります。

地域で子育てを応援する提供会員を募集しています！

八街市ファミリー・サポート・センターでは、仕事と育児の両立を応援するために、満1歳から小学校6年生までを対象として、保育施設への送迎や、保育施設の時間外や学校の放課後などに子どもを預かっていただけるボランティア（有償）を募集しています。

ボランティアに関するお問い合わせは

八街市ボランティアセンター …… TEL:043-443-1411 (直通)
八街市ファミリー・サポート・センター ……
(八街市社会福祉協議会内) 〒289-1192 八街市八街ほ35番地29

協働のまちづくり(全般)に関するお問い合わせは

八街市 市民部 市民協働推進課 …… TEL:043-312-1140 (直通)
〒289-1192 八街市八街ほ35番地29
E-mail: shiminkyodo@city.yachimata.lg.jp

市民協働推進課
HPはこちら⇒

